

第3回 地域連携研修会

～嚥下障害の理解、ポジショニングの重要性について～

令和元年 7月29日発行

今年度第3回目の研修会が7月20日に行なわれました。今回は土曜日の午前中に開催し、11施設より19名の参加でした。食事摂取時の正しい姿勢づくりの目的や、嚥下の仕組み、ポジショニングの基本から実演を混ぜた充実した内容でした。「実際にポジショニングを体験し、利用者さんの気持ちが分かりました」「ポジショニング・車イス・ベッドなどで体験できたのでわかりやすかったです」等の感想を頂きました。利用者さんが食事を安全・安楽に楽しく食べられるように、様々な視点からの工夫が大切になる事を学ぶことができた研修会となりました。



ポジショニングとは、運動機能障害を有する者に、クッションなどを活用して身体各部の相対的な位置関係を設定し、**目的に適した姿勢（体位）を安全で快適に保持**すること

研修の様子



アンケートより、食事の介助方法についての受講希望が多くありました。次年度のリハビリ研修の参考にさせていただきたいと思えます。

次回の地域連携研修会は**9月26日（木）18時～**

医学講座「終末期医療について」です。

たくさんの参加をお待ちしております。

～アンケートより～ アンケート回収19枚

- 開催時期は適切でしたか？
適切19名 不適切0名
- 所要時間は適切でしたか？
適切19名 不適切0名
- ポジショニングについて理解できましたか？
できた19名 できなかった0名
できた理由（利用者様の気持ちが分かりました）
（映像を見ながらだったのでわかりやすかった）
- 食事介助の方法について理解できましたか？
できた19名 できなかった0名
- 嚥下について理解できましたか？
できた19名 できなかった0名
できた理由（ムセの仕組みがわかりました）
- 今後、日々の業務に活かそうですか？
活かそう19名 わからない0名
- 次回の研修で受講したい項目に順番を付けてください

受講希望の多かった順

①介助方法 ②ポジショニング ③嚥下

